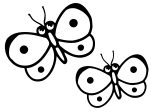


2年 学年通信

光明中学校 第3号 2017/04/20 発行 訂正版



スタートして10日ほど経ちました・・・



それぞれが気分一新スタートした第2学年、スタートして10日ほど経ちましたが、2年生になっての学校生活はいかがですか？ 新しいクラスの雰囲気はどうですか？ 新入生の行動を見てみると、慣れない生活の毎日に少しとまどっている様子がうかがえます。”君たちも1年前はそんな感じだったんですよ”。それからすると、授業の準備であったり、教室移動であったり、体育の更衣であったり、給食の活動など、どの活動も素早くになりました。また、落ち着きも出てきましたし、朝の挨拶も、入学時と比べものにならないくらい立派な挨拶ができる人も増えましたし、言葉遣いを意識する人も増えました。いろんな面で成長したなあと感じる今日この頃であります。(もっとももっと・・・成長してくださいね・・・。)

部活動では、1年生の仮入部が始まりましたが、もう1年生の誰かに ”先輩” と声をかけられましたか？ 先輩と呼ばれるにふさわしい人になれるよう、後輩のお手本ともなれるように日々はりきることになるのかなあ??・・・。

1年生は君たちの行動を見ています。あいさつ、言動、身だしなみ、時間のけじめ、委員会や係活動、日直や給食などの当番活動等、自分はちゃんとできているのか再確認しましょう。まねされていい行動をしましょう。自分ができてもいけないことは、後輩に注意できませんしねえ。

各学級のクラス目標が決まりました!!

2-1

メリハリを持ち
笑顔が絶えない
北出学級



2-2

M 前向きに
I 一致団結
Y You can do it
A あきらめないで
T 立ち向かい
A 新たな道を切り開く

かんがえたねえ

2-3

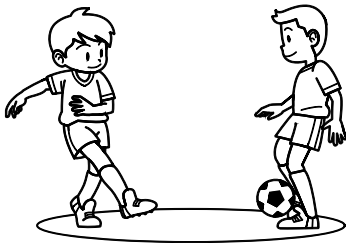
愛と勇気あふれ
明るく楽しい
けじめのある
クラスをめざそう
with K

2-4

一致団結 一蓮托生
物は大事に
何より平和が一番大切
メリハリ効かし
さあ 踏み出そう

みんな協力し、1年かけてそんなクラスを目指しましょう!!

裏面も読んでね



新入生歓迎会がありました

先日、新入生歓迎会が行われました。始まりにあたって、あいさつ

立った教頭先生がしてくださった話は頭に残っていますか？こんな内容の話でした。「1年生は、2年生3年生の先輩の姿、行動、活動をしっかり見なさい！2年生3年生は、自分のまた自分たちの姿、行動、活動をしっかり1年生に見せなさい！」(ただ単に見せるのではなく、いいところを見せてあげてくださいと。)それから、部活動紹介にも触れた話がありましたね。部活ごとに、いろいろと紹介の仕方を考え、そのネタを準備しているかと思いますが、それはそれで大事なことでけれども、「**本当の意味での部活紹介とは、活動自体をしっかり見せること。その成果を披露することだよ**」と、話されました。先生もさうだなあと考えていますし、その場に応じた話をしてくださってうれしく思いました。どんなにいい話であっても、聞き手にしっかりと“聞き取る力”がなければ、また、話し手に“聞かせる力”がなければ、せつかくのいい話も、無意味な話になってしまいます。いろんな方が、いろんな場面で話をしてくださいます。自分を高めるためには、しっかりと話を聞いて、要点を聞き逃すことなく、聞き取る力が必要です。また、人前で話をするを幾度となく経験することで、聞かせる力を身につけることにもつ



1組 室長 末永 和希 副室長 宮崎 夏帆	2組 室長 山口 航平 副室長 形屋 咲幸
3組 室長 納 明広 副室長 下園 祭里	4組 室長 坂尾 鈴音 副室長 高貝 宏紀
生徒会 副会長 中川 貴一 執行委員 東 啓士郎	執行委員 加登 慶大

構成メンバーです

各クラスの学級の組織が出来上がり、先日、学年委員会が発足しました。学年委員長は、2-2の山口航平君が、副委員長は2-3の下園祭里さん、2-4の坂尾鈴音さんがすることになりました。各学級の室長、副室長をはじめ、この学年クラスのみとめ役として頑張ってくれることとなります。決して任せっきりにしないで、出来ることは協力してみんなで、クラスを学年を盛り上げていきましょう。また、学年目標も設定してくれました。3階の廊下にも掲示しますので、まずはご覧あれ。

学年目標

あきらめないで 一致団結し 互いを大事に思いやり
メリハリをもった 尊敬される先輩に！

前号でも連絡しておりますが、第1回目の諸費引き落とし日は、5月29日です。確認よろしくお願ひします。



当時の娘はこんなかんじだったかなあ

こんな話はいかがが...



娘が高校生のときの話です(今は社会人1年生)。春の大会(バドミントン)に参加した時の話です。娘は、体調が優れなくて、何と1回戦で敗退。本人いわく、本来なら3、4回戦までは勝ち上がるはずがこんな結果にと……。くやしくてくやしくて試合後、とことん泣いたとのことでした。そんな姿を見て、気をつかってそーっとしてくれる人がいたり、励ましの言葉をかけてくれる人がいたり、何かとジョークを飛ばしたりして落ち込んだ気持ちをやわらげようとしてくれる人がいたり、それはそれは優しく接してくれる人が大半だったそうです。「ええなかがいっばいおるんやなあ」といって話を聞いていました。

そんな中、あるふたりの男子はそれぞれこういったそうです。「何してんねん」「何で負けんねん」と。娘は、きつい言葉だったけどうれしかったといっていました。…… “もっと強くならなあか

ん。自分に、まわりにあまえとつたらあかん。もっと自分に厳しくないとかんで……。といわんばかりの言葉だったんだと思います。優しさも必要ですが、こどもたち(人)は、時には厳しく接してもらうことも望んでいるのかもしれない。自分に優しく接してくれる人、厳しく接してくれる人、その両方の人がいるに越したことはないでしょう。

